

えがお大東っ子 第7号

大東市のホームページでも「えがお大東っ子」をご覧ください。

<http://www.city.daito.lg.jp/kakukakaranoosirase/gakoukyoiku/kyouikukenkyu/egaodaitoukko/>

心豊かで、笑顔の絶えない ★元気な『大東っ子』に！



見出しの文は大東市子ども基本条例(平成19年9月制定)前文の中の一文です。大東市は、子どもを『社会の宝』として尊重し、すべての子どもを心豊かで、笑顔の絶えない元気な『大東っ子』に育てることを目標にしています。

しかしながら、いじめ・虐待など子どもの人権が侵害されている現状があります。また、子どもたちの自尊感情(自分を大切に思う気持ち)の低さがルールを守ろうとする意識や学習意欲の低さなどに影響しており、それらの解決のためには人権教育の取り組みが重要です。



四条小：ゲストティーチャーによる朝鮮の楽器演奏体験



北条中：水平社博物館見学

人権教育には、部落問題・障害者問題・在日外国人問題・国際理解等いろいろな領域がありますが、それらを学ぶことはもちろん、子どもたち一人ひとりが「自分の大切さ」や「他の人の大切さ」を感じ、行動していきけるようにしていくことが大切であると言えます。

大東市内の全ての学校園では、人権教育推進計画を立て、各領域において計画的に取り組んでいます。また、毎年「人権教育研究推進校」を選定し、人権教育の指導内容・方法の研究を行っています。本年度の推進校は、小学校が、四条小・深野小・北条小・北条西小の4校、中学校が四条中・北条中・谷川中の3校です。それぞれの学校で重点目標を定めて取り組み、実践研究の成果を他の小中学校の取り組みに活かすことで市全体の人権教育の充実を図ります。

子どもたちが心豊かに育つには、まわりの大人たちの関わりが大切です。教師自身が人権感覚をみがくとともに、子どもたち一人ひとりを大切に、安心して学校生活を送れるようにしていく等、学校における全ての教育活動において人権教育を推進していきます。家庭、地域、学校が力を合わせ、『社会の宝』である子どもたちを共に育てていきましょう。



四条中：林間学舎での冒険教育を取り入れた集団づくり



わかりやすい授業をめざして



大東市では、すべての子どもたちがわかりやすい授業をめざして、授業はもちろんですが、学校園の生活全般を通して様々な工夫を心がけています。たとえば、子どもたちが見通しを持って集中して取り組めるように、学習環境や指導内容を工夫しています。

- ・言葉で聞くだけではなく、実際に見ることのできる教材を使う。
 - ・1日の生活の流れや1時間の授業の流れを示す。
 - ・その授業で何を学ぶのかを提示する。
 - ・前面の黒板周辺はすっきりと整理する。
 - ・指示は簡単な言葉で簡潔にする。
 - ・掃除の手順や係活動の内容を提示する。
- などです。



授業の流れ（中学校）



今日持って帰るもの（小学校）

少し丁寧すぎると感じるかもしれませんが、子どもたちにとって「できた！わかった！」という達成感が、次への学習や活動へのエネルギーとなります。

安心と信頼に支えられた「自ら学び、学び合う」学級集団の中で、学ぶ喜びを実感する子どもを育てるために、日々、わかりやすい授業をめざして、授業改善に努めています。

「ほくと」でできること センターの愛称

北条青少年教育センター



ストリート・ダンス

緑豊かな環境に囲まれ、グラウンドや体育館のある施設として、市内の小中学生だけでなく、市外の小中学生も多く来館し、バスケットボール・卓球・バトミントンなど個人やグループで楽しんでいます。特に校区や市を越えて子どもたちがドッジボールで一緒になって遊んだり、中・高校生や大学生が小学生にバスケットの指導をするなど異年齢交流が行われ、自然なふれ合いの中で思いやりの心を育んでいます。

特色ある長期教室としては、北条の豊かな自然を利用した理科教室があります。野菜の苗植えから収穫するまでを体験し、収穫後は保護者からボランティアを募集し、教室参加者とカレーやサラダなどを作って味わい、一緒に自然の恵みに感謝します。音楽室、夜間の体育館の利用は、有料で貸し出しを行っています。音楽室は、太鼓練習やバンド練習に、体育館は、空手・バレーボール・バスケットボール・フットサルなどの利用ができます。



理科教室の様子

（問合せ先：876-0002 大東市立北条青少年教育センター『ほくと』）

子どもの健やかな 育成のために

青少年指導員会一斉巡視活動 こども会育成振興事業

大東市青少年指導員会では、深夜に徘徊する青少年に声をかけ非行行動を防ぐことを目的に、日時を合わせて市内で一斉に巡視する活動を昨年度より行っております。

昨年度は8月、12月、2月の3回実施をしました。今年度も、8月20日、9月23日、11月19日に実施する予定です。関係者の皆様にはご負担をおかけすると思いますが、協力方よろしくをお願いします。

また、教育委員会では、大東市こども会育成連絡協議会（以下市こ連）と協力して、地域のこども会の育成につながる事業を行っています。ソフトボール、ドッジボール、駅伝のスポーツ大会やポスター等のコンクールを行っています。今年度は市こ連が設立50周年を迎えたこともあり、例年以上に充実した事業を展開していきます。



ソフトボール大会(昨年度)

地域ファミリースポーツ住道ブロック大会

この大会は、誰もが気軽にスポーツを楽しめるように大東市体育指導委員を中心に開催しています。今回はカローリングというニュースポーツを行います。ルールは簡単!!氷上で行うカーリングからヒントを得てストーンの代わりにプラスチック製のジェットローラーを9m先の的にめがけ交互に投げ得点を競います。4人1チームなので、ご家族、お友たちと参加してみませんか。もちろん、お一人でも参加できますよ。



カローリング大会の様子

- ・日時：平成23年9月11日（日）午前9時30分から
- ・場所：大東市立住道南小学校体育館 参加申込み：当日会場にて

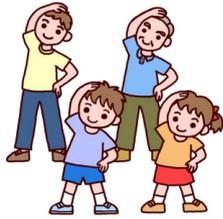


家庭教育ヒントコーナー



夢を育て♪

「ベルリン・フィルの指揮者になる」ーこれは指揮者の佐渡裕（さど ゆたか）さんが小学校の卒業文集に書いた言葉です。今年5月、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会でその夢が実現しました。演奏後も拍手と「ブラボー」の歓声が止まず、佐渡さんも喜びの涙を流しました。佐渡さんは小学校時代の恩師が子どもには無理という発想ではなく、子どもの興味を大切に、尊重してくれたことが夢を叶える勇気になったと感謝されています。家族でふれ合う時間が増える夏休み、子どもが興味をもっていることにチャレンジしたり、子どもの夢を広げるチャンスにしましょう。



Daito

すこやかネット

訪問

NO. 2

南郷キューピット地域教育協議会

(南郷中学校区)



卒業フェスタ(餅つき大会)

子どもの笑顔は 地域がつながることから

南郷キューピットとは、南郷中、南郷小、氷野小の先生方、青少年指導員、PTA、こども会、地域の代表で構成され、「スポーツ支援」「地域支援」「学校支援」などそれぞれの分野にボランティアの方々を募り活動しています。

南郷キューピットでは「子どもにとってプラスであること」「地域の子どもは地域で育てよう」という、子どもたちの健全育成をめざすことを目的としています。

スポーツ支援活動では、バスケットやバレーボールなど6つのスポーツクラブで、地域の方々が指導者となり小学校や中学校の施設を利用して活動しています。

また、地域支援活動では毎年8月、「南郷キューピット夏祭り」を開催しています。子ども会やスポーツクラブなどが模擬店を担当し、子どもたちからはダンスや歌などが披露され、来場される方々の数も実に2000人以上が集まって交流を図ります。

これからも地域の方々に愛される南郷キューピットとして活動していきます。

諸福中学校区地域教育協議会

クリーン&ジョイフル



広がる人の和 子育ての輪

保護者・地域・学校の関係者が集まり、「子どもたちを地域で見守り、地域で育てよう」を合言葉に情報交換をしたり、取り組みを実施したりしています。

たとえば「クリーン&ジョイフル(地域清掃活動)」は年間7回土曜日の朝、実施しています。毎回150名から200名の参加があり、定着している活動です。通学路が美しくなるとともに、参加者の気持ちもすがすがしくなります。

また、3月初めの日曜日に開催する「ふれあいフェスタ」は、今年度第13回を迎えます。恒例の卒園・卒業を祝う紅白の餅つき(全卒園児・卒業生に配ります)やいろいろな模擬店や催しを行います。地域ぐるみで大いに楽しみ、心温まる一日となります。

今後も家庭・地域・学校が協働して子どもの健全育成に努めていきたいと思ひます。